

事業所名

スマートキッズプラス港南

支援プログラム

作成日

2025年

1月

30日

法人(事業所)理念		教育の力により、一人ひとりの可能性を最大限支援することによって、共生社会の実現に貢献します				
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが主体的に課題に取り組めるよう、子ども自身の力を信じ、思いに寄り添った関わりをもつ。 ・社会生活に必要な力を育むために、一人ひとりに合わせた課題をスモールステップで設定し、成功体験に繋げる。 ・地域や関連機関と密接に連携し、子どもとその家族に最適な支援を検討し、提供を行う。 				
営業時間		13時30分から	18時0分まで	送迎実施の有無	あり なし	
支援内容						
支援方法		個別課題		集団・小集団課題		
本人支援	健康・生活	生活スキルとしての清潔の維持や身だしなみ管理の課題 災害時の対応を身に着ける課題 「食」に関する様々な経験と知識を身につける食育課題		危険個所の理解や災害時等に関する避難訓練の実施 自立した生活を送るための買い物学習 大切な自分を守るための包括的性教育		
	運動・感覚	指先の機能の向上のための微細運動(例:洗濯ばさみ、プットイン等)の課題 視空間認知の発達や目と手の協調性ためのビジョントレーニング課題 活動時や課題実施時の姿勢保持の課題		指先の操作や巧緻性のための微細運動(製作等) 体幹や姿勢保持・ボディイメージの形成のための活動(バランスボール、平均台等) 触覚に関わる活動(ペインティング等)		
	認知・行動	金銭の概念や計算についての理解に関わる課題 時計や数量についての理解に関わる課題 見通しを持つことで安心して過ごせるようスケジュールや構造化への理解の課題		金銭の理解に関わる活動(お買い物練習、金額当てクイズ等) 数字の理解に関わる活動(全部でいくつ?、数字当てゲーム、ビンゴゲーム等) 興味・関心の幅を広げるための活動(これってなんだ?、好きな物どれだ?等)		
	言語・コミュニケーション	文字や文章の読み書きの理解のための課題 人との相互作用によるコミュニケーションとしての1対1での関わり課題 コミュニケーションスキルの獲得・向上のための(指差し、身振り、サイン等)の課題		文字やイラストを用いたコミュニケーションの活動(かるた、絵しりとり等) 人との相互理解のコミュニケーション活動(他児・指導員に関する〇×クイズ等) 意思表示の言語と選択のための活動(はい・いいえ・どちらでもない等)		
	人間関係・社会性	社会でのルール理解や他者との関わりに関する課題(SST) 集団への参加や集団での指示理解のための課題 適切な距離感や丁寧な言葉への理解に関する課題		社会性の向上のための活動(SST、ルールを守って協力ゲーム等) 集団の中での順番、工程を守るための活動(よく聞いてやってみよう、順番にできるかな) 自己理解・他者理解のための活動(自己紹介をしてみよう、気持ちの良い言い方・伝え方、クッション言葉、アサーション等)		
家族支援		保護者に対して、発達検査や本事業所内での様子、家庭での情報を踏まえてアセスメントした内容を共有する。また、現状の発達段階や特性についての対応も明確にし、本事業所で対応していることを家庭でも取り組めるように共有していく。 保護者との面談や支援内容の共有の時間を通して、発達段階における基本対応や特性に関する基本情報の提供を行い、家庭で可能な適切な対応に関して助言を行う。		移行支援		学校、その他機関と日常的に連携を行い、行事等の普段と異なる活動の際の利用者への関わりについて、具体的な関わり方のモデルを示す。 将来を見据えた利用者の現在の課題を他機関と共有し、自立のために出来ることを増やす支援を行う。
地域支援・地域連携		学校とご家庭での課題が違う場合、原因について検討・共有・新たな支援を提案する役割を担うことで、それぞれの環境での適切な対応、また出来る範囲で統一された対応を促し、利用者の成長に繋げる。 関係機関がそれぞれで得られた情報を共有すると共に役割分担を行い、当事業所でできる支援について明確に示し、利用者ひいては家族にとってのQOL向上のための支援や将来に向けた対策について提案する。		職員の質の向上		経験年数別の階層別療育研修・組織人研修、虐待防止研修、感染症対策防止研修等の実施。 心理士等専門家を交えたミーティング、事例検討の定期実施。
主な行事等		避難訓練(火事、地震、水害、不審者対応)、課外活動(買い物、外食)、調理活動(ちらし寿司作り、デザート作り)、保護者会、クリスマス会、ハロウィンパーティ、毎月のお誕生日会、初詣				